

福島第一原子力発電所における不適合発生・処理状況について
(2019年度第1四半期)

2019年 8月 6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

○2019年4月1日～6月30日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は166件
ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は47件※です。

○2017年8月1日～2019年3月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」
は872件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は699件※です。

※2019年6月30日現在

○不適合の発生及び処置状況の詳細については、添付資料参照

・添付資料—1

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度第1四半期分
(2019年4月1日～2019年6月30日)」

・添付資料—2

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分
(2017年度分、2018年度分)」

○パフォーマンス向上会議において審議された全件名については、「不適合の公表区分」に
応じて、プレス発表または当所ホームページ上において全数公表しております。

・添付資料—3 (不適合管理グレードⅠに関わる件名)

「2019年度第1四半期不適合詳細(委員会確認日:2019年4月1日～2019年6月30日まで)」

＜原子力発電所における不適合の是正管理＞

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の施
設定期検査や安全確保設備等の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。

その中で、「不適合 *」が発見された場合には、「不適合管理及び是正処置・予防処置基
本マニュアル」に基づき、必要な是正処置等を講ずることとしております。

*不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは
異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(パフォーマンス向上会議にて決定)

- GⅠ:是正処置※¹・予防処置※²を確実に実施すべき重要なことから
- GⅡ:是正処置※¹を確実に実施すべきことから
- GⅢ:修正処置※³などを伴うことから
- 対象外:消耗品の交換等のことから

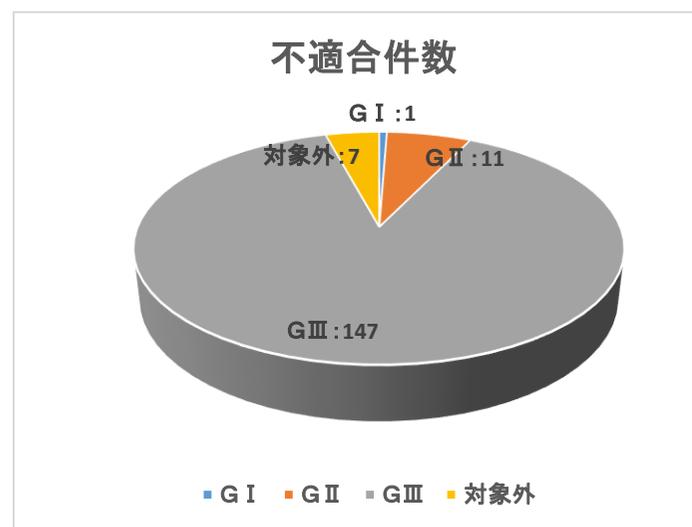
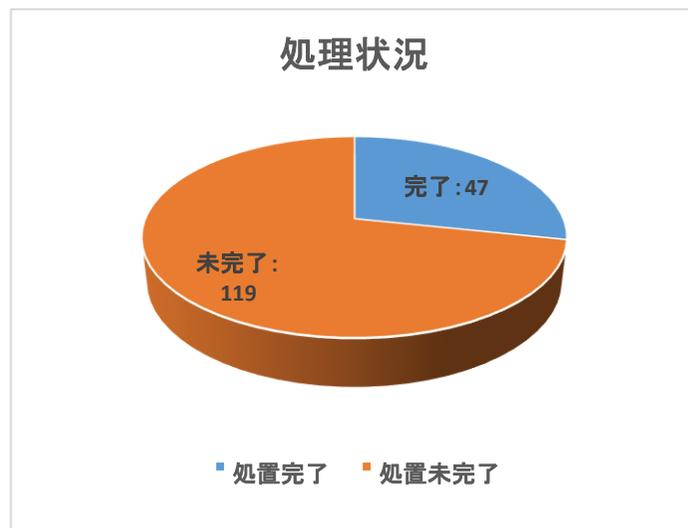
※¹是正処置:不適合の原因を除去するための処置(=再発防止対策)

※²予防処置:是正処置を他発電所へ展開する処置(=水平展開)

※³修正処置:当該不適合を除去するための処置(=修理、修正)

以上

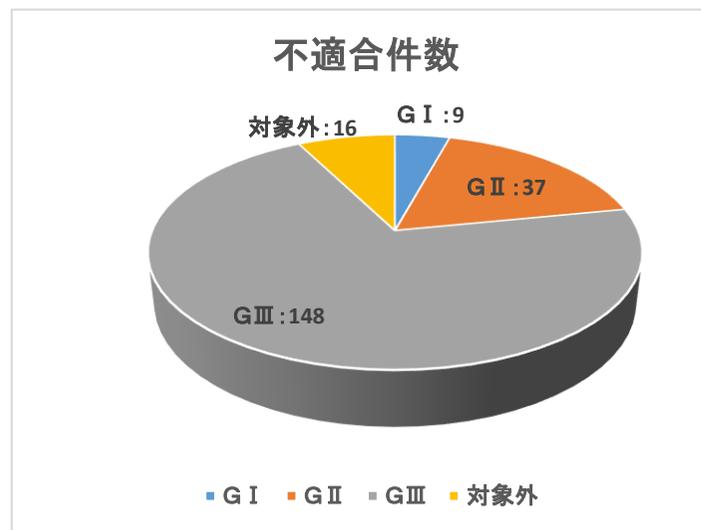
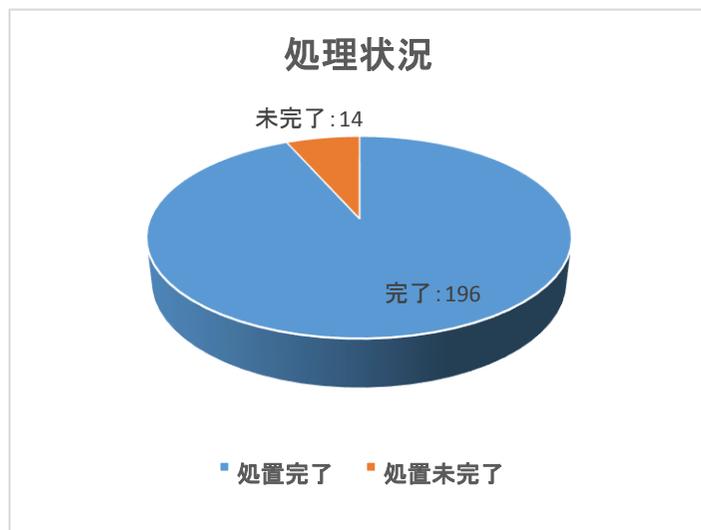
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度第1四半期分
(2019年4月1日～2019年6月30日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	0件	1件
G II	2件	9件
G III	38件	109件
対象外	7件	0件
総計	47件	119件

グレード	不適合件数
G I	1件
G II	11件
G III	147件
対象外	7件
総計	166件

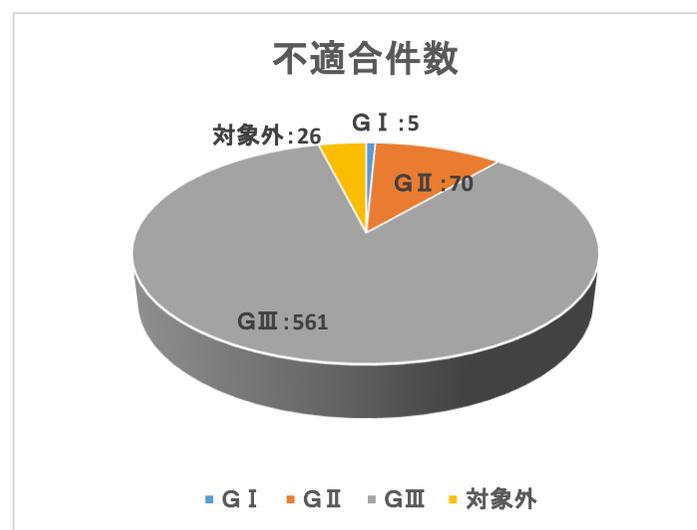
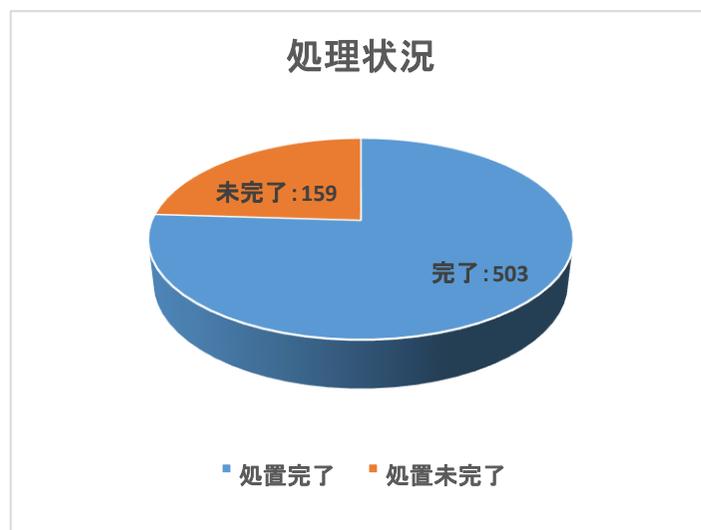
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2017年度分
(2017年8月1日～2018年3月31日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	7件	2件
G II	35件	2件
G III	138件	10件
対象外	16件	0件
総計	196件	14件

グレード	不適合件数
G I	9件
G II	37件
G III	148件
対象外	16件
総計	210件

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度分
(2018年4月1日～2019年3月31日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	3件	2件
G II	54件	16件
G III	420件	141件
対象外	26件	0件
総計	503件	159件

グレード	不適合件数
G I	5件
G II	70件
G III	561件
対象外	26件
総計	662件

2019年度第1四半期不適合詳細（委員会確認日：2019年4月1日～2019年6月30日まで）
 （不適合管理グレード I に関わる件名を抜粋）

G I グレード: 1件

No	件名	委員会 確認日	グレード
1	<p>【2号機原子炉压力容器窒素封入量測定範囲の下限値の誤りについて (運転上の制限逸脱)】 2号機原子炉压力容器窒素封入流量計の計器仕様書の測定範囲が「10 ～50Nm³/h」と記載すべきところ、「5～50Nm³/h」の誤記を確認。 過去の測定記録を調べた結果、計器の測定範囲の下限値「10Nm³/h」 を下回る期間を確認したため、この期間を運転上の制限逸脱に該当と判 断。 当該計器の交換を検討し、窒素封入流量低下の原因を調査する。</p>	2019/5/22	G I